

底びき網漁業の漁模様について
(令和2年9月～令和3年6月)

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

- ・ 本県底びき網漁業（沖合底びき網、小型機船底びき網の合計）は6月末で漁期を終え、2ヶ月間の休漁に入りました。
- ・ 今漁期（令和2年9月～令和3年6月）の全県の漁模様についてお知らせいたします。
- ・ 今漁期の水揚げ量は2,609トン（昨年漁期2,052トン、対昨年漁期比127%）、水揚げ金額は988百万円（昨年漁期906百万円、同109%）でした。
- ・ 水揚げ金額上位種は以下のとおりで、1位がヒラメ、2位がヤリイカ、3位がババガレイでした。ヒラメは昨年漁期に引き続き水揚げ金額の最上位でしたが、水揚げ量の対昨年漁期比は86%でした。

表1 今漁期の底びき網漁業の水揚げ状況

順位	魚種名	水揚げ金額 (百万円)	水揚げ量 (トン)	昨漁期年 水揚げ量(トン)	対昨漁期年比 (%：数量ベース)
1	ヒラメ	134	232	272	86
2	ヤリイカ	111	255	131	195
3	ババガレイ	82	172	149	115
4	マアナゴ	79	117	158	74
5	ヤナギダコ	66	300	175	172
6	キアンコウ	62	268	144	186
7	オキナマコ	58	42	30	143
8	ヤナギムシガレイ	57	99	91	108
9	アオメエソ	56	113	79	144
10	スルメイカ	50	146	28	525
11	アカムツ	36	18	11	155
12	マガレイ	19	47	76	62
13	ムシガレイ	14	89	60	148
14	ズワイガニ(オス)	11	7	4	159
15	キチジ	10	7	4	174

【備考】

- ・ 集計は各漁業協同組合の水揚げ月報を用いて行いました。